
HTML

画像の挿入

6 時間目

画像の挿入とは

HTMLに、イメージタグを書けば
画像を表示することが出来る



画像ファイルとは

解説

画像ファイルには、gif（ジフ）や jpg/jpeg（ジェイペグ）などの種類があります。
『ファイル名 . gif（ジフ）』、『ファイル名 . jpg/jpeg（ジェイペグ）』という形式が一般的です。

画像ファイルの例



buildings.GIF



device.jpg



server.jpeg



tablet.gif

補足

画像ファイルの形式は、GIF、gif、jpg、JPG、jpeg、JPEG、png、PNGなど様々です。
それぞれの形式で意味が異なりますが、ここでは、覚える必要はありません。

画像挿入の基本ルール

解説

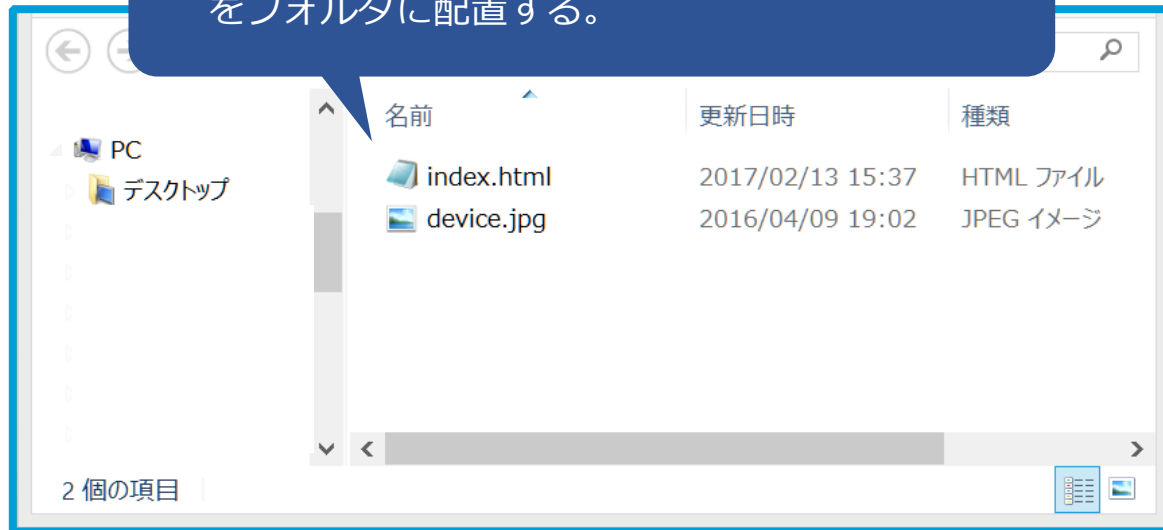
イメージタグは、下記の形で記述し、●●●の部分に画像のパス（絶対パス or 相対パス）を書く。

ここに表示したい画像のパス(絶対パス or 相対パス)を書く

補足

一般的には、相対パスを書く事が多い為、ここでは相対パスを書いていきます。

① このように、「index.html」と「device.jpg」をフォルダに配置する。



index.html(HTMLファイル)

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">

<head>
  <meta charset="UTF-8">
  <title>●×△</title>
</head>

<body>

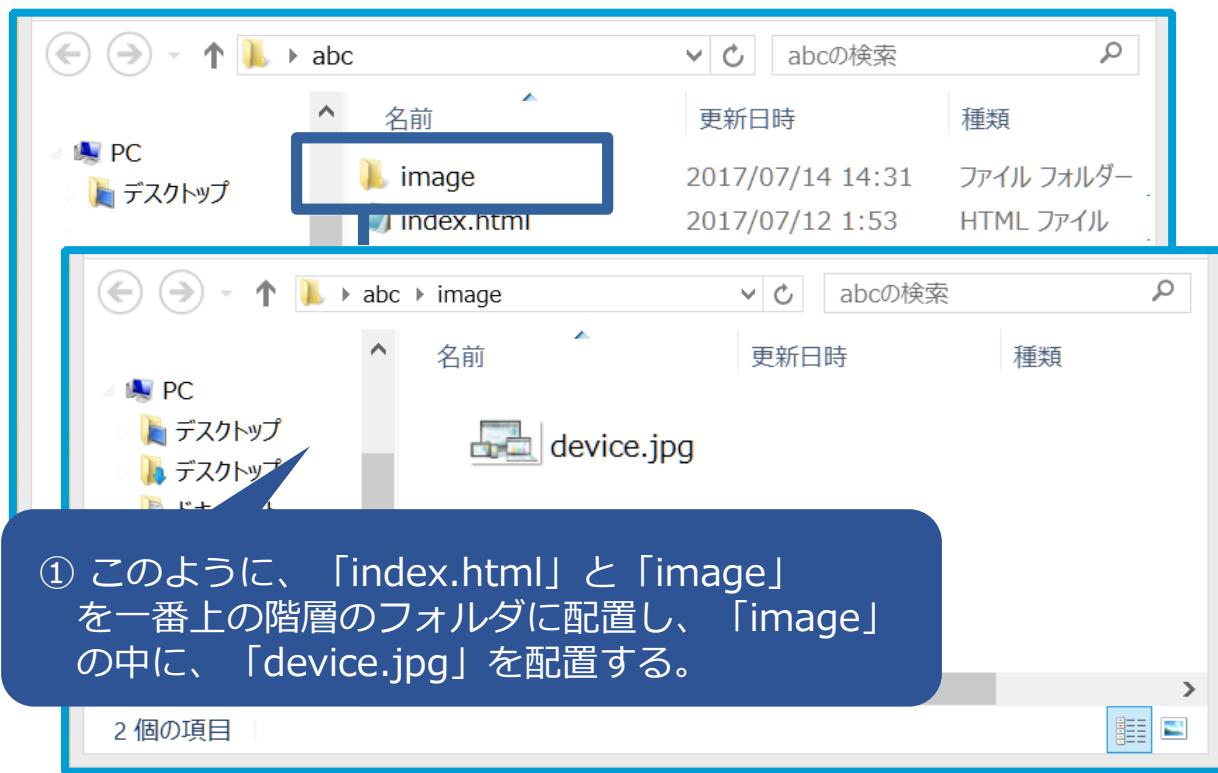
  

</body>
</html>
```

② 「index.html」のファイルから見て、画像ファイル(device.jpg)は、同じフォルダの同じ階層にある為に、相対パスはこのように書く。

③ このように「device.jpg」の画像が表示される。





index.html(HTMLファイル)

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">

<head>
  <meta charset="UTF-8">
  <title>●×△</title>
</head>

<body>

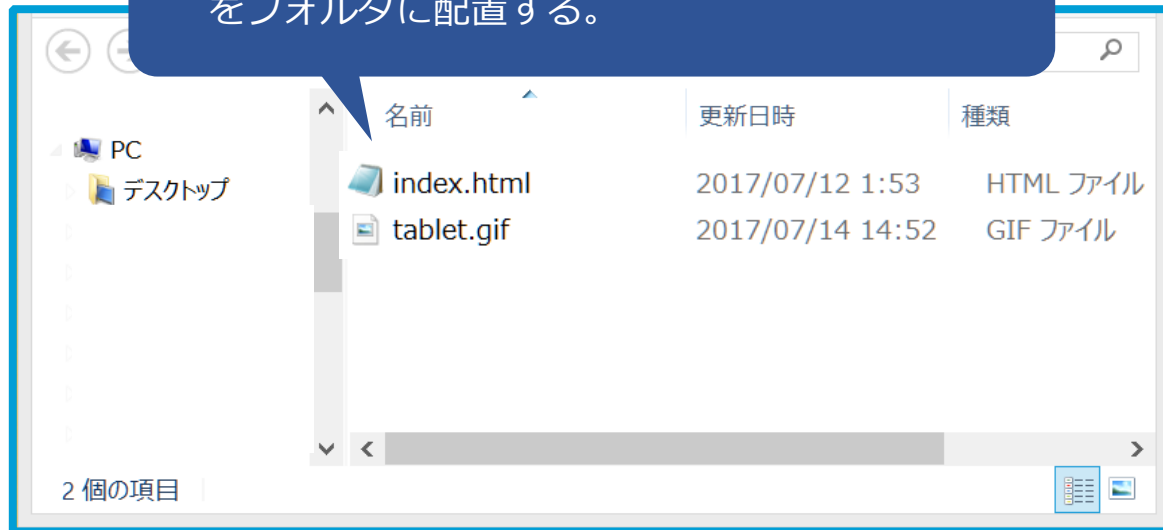


</body>
</html>
```

② 「index.html」のファイルから見て、画像ファイル(device.jpg)は、1階層下にある為に、相対パスはこのように書く。

※ と書いてもOK

① このように、「index.html」と「tablet.gif」をフォルダに配置する。



index.html(HTMLファイル)

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">

<head>
  <meta charset="UTF-8">
  <title>●×△</title>
</head>

<body>



</body>
</html>
```

② 「index.html」のファイルから見て、画像ファイル(tablet.gif)は、同列にある為に、相対パスはこのように書く。